



広報 Nakadomari PR Magazine

なかどまり

10月

OCT 2017 No.151

両関取目標に

宝富士杯・阿武咲杯争奪

小中学校相撲大会



[スポットライト]
活ハマまつり
徐福まつり
少年の主張大会

[まちの話題]
戦没者追悼式
通学合宿
イネ子のメロン収穫体験

[お知らせ]
衆議院議員総選挙
町民映画会のお知らせ
敬老会バスのお知らせ

6月15日(木)に行われた、薄市小学校の修学旅行でのPRに続き、中里中学校、小泊小学校、中里小学校でもPR活動が行われました。

中里中学校2年生は、9月19日(火)に修学旅行で訪れた東京都の上野公園で行いました。生徒らは、公園を歩いている人を呼び止めると、この日のために自分たちで作ったオリジナルのパフレットで町を紹介。特に宝富士関や阿武咲関のことを質問され、話が盛り上がっていました。

PRを行った生徒らは「知らない人に話しかけ緊張したが、楽しかった。今度遊びに行くと言ってくれた人もいたので、や



中里小学校



小泊小学校



小泊小学校



中里小学校



練習の様子



中里小学校



中里小学校



ってよかったと思った」と満足げに話していました。

小泊小学校6年生は、9月20日(水)に修学旅行で訪れたJR東日本函館駅前で町のPRを行いました。児童らは、駅前を通りかかった人を呼び止め、町のパンフレットや自分たちで作ったボードを使ってPRをしました。児童らは「最初は怖かったが、慣れてくるとどんどん話しかけられるようになった。町のことを知ってもらえて嬉しい」と楽しそうに話していました。

中里小学校6年生は、9月29日(金)に修学旅行で訪れたJR東日本函館駅前で町のPRを行いました。町イメーჯキヤラクターの米ケルとイカリんも応援にかけつけました。児童らは、米ケルやイカリんたちと一緒に通りかかった人に話しかけ、手作りの町の魅力が書かれた紙を見せながらPRをしていました。児童らは「ちゃんと話を聞いてくれたり、がんばってね」と応援してくれる人が多くて嬉しかった。もっと配りたかった」と笑顔で話していました。

函館で中泊町をPR

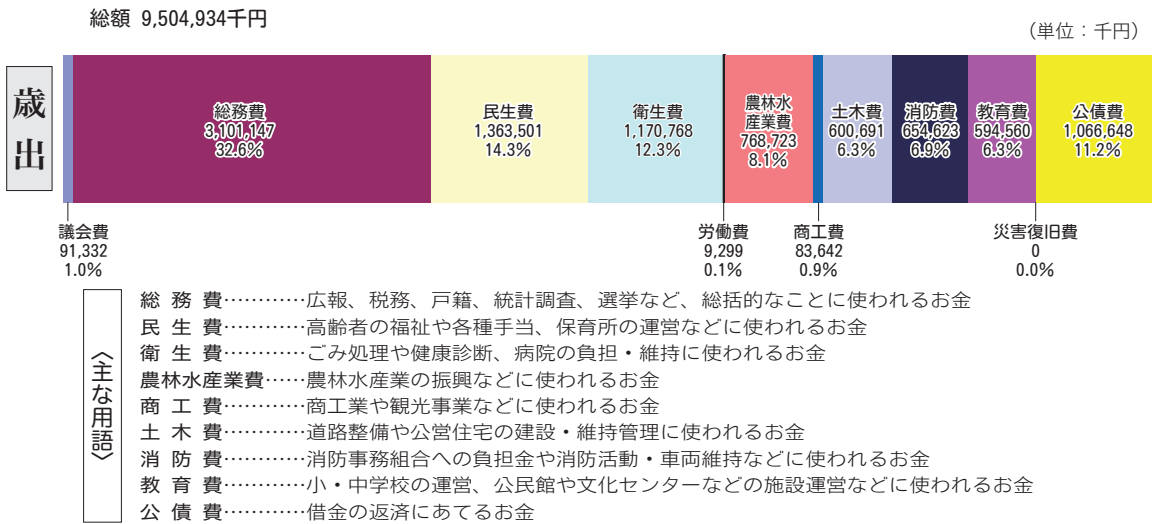
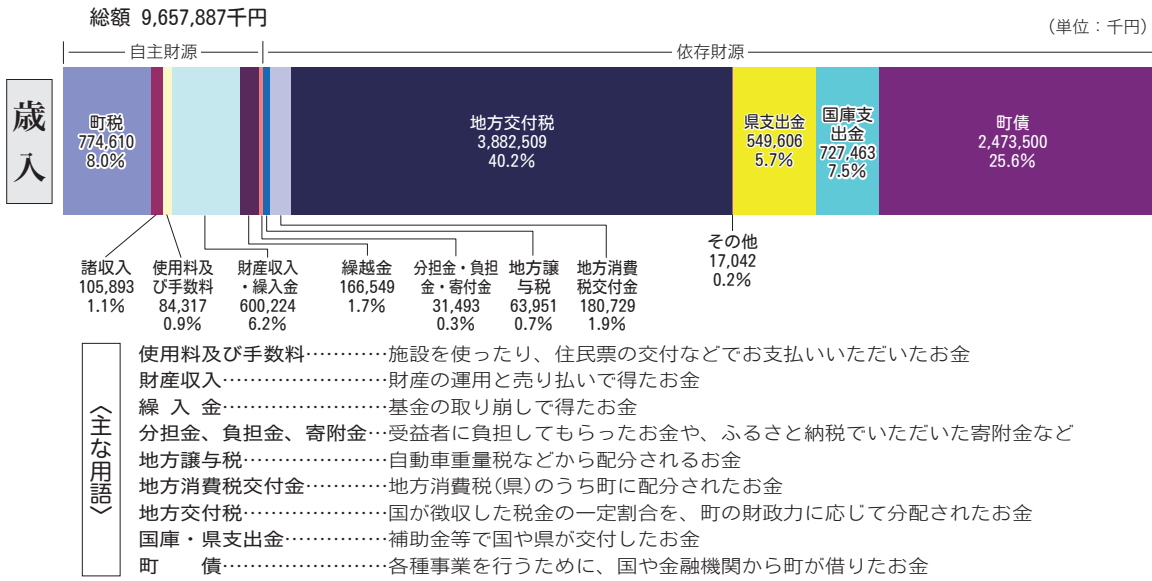
なかどまり



PR大作戦! 2

1 一般会計の概要

福祉や教育など、さまざまな場面で使われる一般会計。町の台所は、左で紹介している「特別会計」以外は、すべて一般会計で処理しています。



入ったお金、払ったお金の内訳を紹介します

※四捨五入しているため一部合計が合わない場合があります

こんな事業を実施しました

北海道新幹線 開業対策事業

19,988千円

国の地方創生加速化交付金を活用し、津軽海峡交流圏の観光資源を活かした観光地域作り事業を五所川原市、今別町、青森県と協力して行いました。北海道新幹線の開業効果を最大限に獲得するために、ご当地じゃらんの作成、奥津軽いまべつ駅～津軽中里駅間バス運行などを行いました。

2 財政健全化判断比率

この数値が基準を上回ると、財政運営が厳しいとして国に指定されます。町は、いずれの基準も下回りました。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成26年度	—	—	12.6%	69.8%
平成27年度	—	—	10.6%	88.5%
平成28年度	—	—	9.2%	102.2%
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	

〈各指標の解説〉

- 実質赤字比率……広い目的に使われる「一般会計」の赤字額が、地方税や地方交付税等の財源規模(標準財政規模)と比べてどのくらいあるかを指標化したものです。
- 連結実質赤字比率……「一般会計」だけではなく、特別会計も含めた全会計を合算し、町全体としての赤字額を指標化したものです。一般の会社などで行われている「連結決算」と同じ意味合いを持ちます。
- 実質公債費比率……借入金の返済やこれに準ずるものが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数字が大きいくほど、借入金返済に追われ、資金繰りが苦しいということになります。
- 将来負担比率……借入金の返済や将来負担することになるものの残高を、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数値が大きいくと、現在の負担はそれほどでなくても、将来必要になる負担が大きいくということになります。

3 各会計別の概要

一般会計のほか、町には特定の事業を行う目的で設置される特別会計があります。

(単位：円)

	収入	支出	差引額
一般会計	9,657,887,021	9,504,934,481	152,952,540
国民健康保険(事業勘定)	2,577,694,682	2,487,998,033	89,696,649
国民健康保険(診療施設勘定)	140,132,361	140,131,960	401
介護保険事業	1,763,190,123	1,746,845,501	16,344,622
農業集落排水事業	41,176,575	40,807,262	369,313
漁業集落排水事業	23,504,046	23,178,672	325,374
特別養護老人ホーム静和園事業	430,458,024	427,157,995	3,300,029
後期高齢者医療	257,921,482	257,088,631	832,851
水道事業(収益的)	383,130,501	289,744,037	93,386,464
合計	15,275,094,815	14,917,886,572	357,208,243

こんな事業を実施しました

新庁舎建設事業

1,613,530千円



平成28年12月に新庁舎が完成し、平成29年1月より開庁、業務を開始しました。避難所として活用できるほか、1階でさまざまな手続きをワンストップで行うことができます。

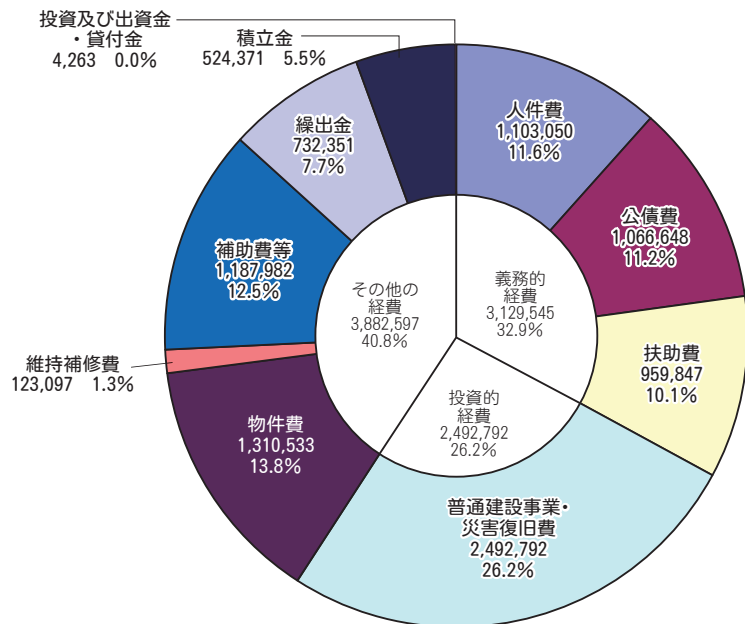


4 そのほか

●一般会計の性質別歳出

使ったお金の性質によって分けた表です。

(単位：千円)



●借金(公債費)残高

(単位：千円)

	平成27年度末	平成28年度末	比較増減
一般会計	11,268,490	12,777,526	1,509,036
国民健康保険	211,531	199,175	▲ 12,356
介護保険事業	0	0	0
農業集落排水事業	252,373	229,813	▲ 22,560
漁業集落排水事業	182,226	168,054	▲ 14,172
特別養護老人ホーム静和園事業	37,463	0	▲ 37,463
水道事業(企業債)	2,328,028	2,190,121	▲ 137,907
合計	14,280,111	15,564,689	1,284,578

平成28年度

決算特集

浜の美味しい！盛りだくさん

第4回活ハマまつり初開催

中泊活ハマクラブが、9月10日(日)小泊漁協前お祭り広場で第4回活ハマまつりを開催し、新鮮魚介類や手づくり商品が販売される会場には、家族連れなど約1500人が来場しました。まつり開会では、駆け付けた町イメーজキャラクターやこども園こども園児らがダンスを披露し会場を盛り上げました。来場者へ感謝を込めて行われた振る舞いでは、下前漁協婦人部のイカ飯と小泊漁協婦人部の海鮮お好み焼きが用意され、長蛇の列となりました。

今年、目玉イベントとして、もずくわんこ早食い競争、氷乗り我慢大会、サザエつぼ焼早食い競争を行いました。氷乗り我慢大会では、氷の入った容器に足を入れ、3分間耐えられるかを競いました。大人も子どもも一緒に冷たさに耐え、会場からは声援が聞こえていました。サザエのつぼ焼早食い競争は、サザエ5個を殻から取って食べる早さを競いました。地元小泊の人たちが慣れた手つきでサザエを取っていく姿が目立ちました。

また、ステージでは、「GOノ皆川」や「キューティーブロンズ」によるエンターテインメントショーで会場は盛り上がりました。来場者らは「食べ物は何れも美味しく、たくさんお土産を買ってしました。サザエを取る練習をしています」と笑顔で話していました。



冷たいけど我慢



濱館町長も一緒にクルージング



サザエつぼ焼き早食い競争

両力士を目標に

第3回宝富士杯・阿武咲杯
争奪小中学校相撲大会

中泊町相撲協会が主催する第3回宝富士杯・阿武咲杯争奪小中学校相撲大会が8月27日(日)、町営相撲場で行われ、町内からは中泊道場が出場したほか、県内の児童生徒が出場しました。

団体戦は、小学校低学年と高学年、中学校の部で行われ、県内から計23チームが参加。小学校1年から中学校3年までの学年別個人戦には県内の児童生徒82人が出場しました。大会が始まると、保護者や仲間から大きな応援が聞こえ、子どもたちは気合いの入った立ち会いを見せていました。

中泊道場の結果は次のとおりです。

団体戦…小学校高学年の部第2位 中泊道場A

個人戦…小学校1年生の部第3位 成田聖悠／小学校4年生の部第3位 高松瑠伊／小学校5年生の部第2位 高杉正彩／小学校6年生の部第1位 奈良昂



心感・食感・体感イベントで楽しむ

第5回 中泊徐福まつり

今年で第5回目となった「中泊徐福まつり」は、8月27日(日)下前徐福公園で開催され、来場者約250人が心感・食感・体感イベントを楽しみました。

■体感イベント 「徐福フォーラム」

〈基調講演と郷土芸能発表〉

「徐福から学ぶ未来の中泊町」と題し、小泊の歴史を語る会長で徐福研究者である柳澤良知氏が基調講演を行いました。続いて、ゲストの田島孝子さん、華雪梅さんと一緒に「中国と日本の徐福」と題してシンポジウムを行いました。

また、網おこしはやし保存会、下前婦人会、小泊婦人会、中里三味線会、健康ダンス「べえ子ちゃん」と謎の美女軍団、花柳穂紀桜会が芸能発表を行い、会場を盛り上げました。

■食感イベント 「海山食感グルメ」

徐福が伝えた「食」をキーワードに町のグルメを選びめぐり、「旨いもの」コンテストを行いました。来場者らはカレーやイカめし・メバ焼きなどを食べた後、気に入った商品に投票しました。

■心感イベント 「徐福交流津軽半島音楽祭」

徐福が伝えたであろう「音楽」が時を越え、現代人の心を癒す音楽祭を開催。中里中学校の吹奏楽演奏を行いました。懐かしい歌やダンスも披露され、参加者たちは手拍子や一緒に歌ったり振り付けを真似たりして音楽祭を楽しんでいました。



ソーシャル・ビジネス・プロジェクト 中里高校SBP活動日誌

8月19日(土)、20日(日) 第2回全国SBP交流フェアに参加するため、三重県伊勢市に行きました。鱒ヶ沢高校と木造高校深浦校舎のSBPと一緒に青森津軽SBPとして発表しました。また、伊勢神宮外宮でメバ焼き！の販売を行いました。とても暑く、販売には苦戦しましたが、みんなで声を出し合ってがんばりました。

9月2日(土)、3日(日) 北海道函館市で開催された、はこだてグルメサーカスに中泊活ハマクラブのみなさんと参加しました。私たちはメバ焼き！、活ハマクラブはサザエの串焼きを販売しました。多くのお客さんに買ってもらい、中泊町のPRができたと思います。

9月17日(日) ふかうらSBPと一緒に青森市アスパムで開催されたうまい森青い森フェアに参加しました。ふかうらSBPのマグロ焼きは、かわいい一口サイズで人気がありました。負けずに声を出してメバ焼き！をアピールし、完売することができました。



日頃の思いを堂々と発表

第5回 中泊町
少年の主張大会

中泊町青少年問題協議会が主催する中泊町少年の主張大会が、8月28日(月)に総合文化センターパルナスで行われました。5回目を迎えた今大会から、中里高校の生徒も参加しました。同協議会の会長である濱館町長が「話すことに成功や失敗はない。この経験が大きな自信となって、今後の活躍に繋がることを期待しています」とあいさつし、始まりました。会場には町内小・中学生と教員、町民ら約320人が発表者の語る思いに耳を傾け、児童生徒らの主張に頷いたり、感心したりする来場者もいました。

■小学校の部

中里小6年 ^{のがみ のどか} 野上 和 「WANDER～友達と友達～」…
ワンダーという本に出会い、友達とは何かを考えさせられた。人を見ただけで判断するのではなく、まず相手を理解しようと話を聞き、思いやりを持って接することで本当の友達を作ることができる。

薄市小6年 ^{おさなひ りのり} 小山内 梨乃 「かわいい赤ちゃん」…
かわいい赤ちゃんと接し、なぜ虐待が起きるか不思議に思った。調べることで知った悲しい現実と「オレンジリボン運動」という子どもと親に声をかけ助け合う、優しい働きかけの存在を伝えました。



武田小6年 ^{たなか とよ} 田中 永喜 「命の重さ」…両親からもらった大切な命。いつかはなくなる命だが、悔いのないと思う存分生きることが幸せである。命の重さを知ることによって学び、それを世の中の役に立つようにすれば、いい世界に変えることができる。



小泊小6年 ^{たけはら まな} 竹原 真菜 「人と人とのつながりを深めるあいさつ」…みなさんは誰にでも「あいさつ」をしていますか？自分と他の人とのつながりを深めてくれるすてきな言葉。された人も、した人も元気になる「あいさつ」の大切さを伝えました。



■中学校の部

中里中1年 ^{みかみ こうへい} 三上 航平 「目標につなげて」…好きなテニスの研究を始めて、自分の弱点が分かった。好きだからこそ毎日続けられた。研究の成果を大会で出し、思い通りのゲーム運びで試合に勝つという目標を発表しました。



中里中2年 ^{なりた ないと} 成田 星斗 「今、やりたいこと」…念願



のサッカー部に入部。しかし、夏に3年生が引退し、1人になり廃部。卓球部に転部したが、本当にやりたいことはサッカーだと実感。サッカーへの情熱を語りました。

小泊中1年 ^{はせがわ ちか} 長谷川 千華 「心の声」…言葉は時として暴力にもなるため、慎重になっ



てしまう。しかし、仲の良い友達が悩んでいる姿を見て、心の声を言葉として伝えました。

小泊中2年 ^{あおやま ここね} 青山 心音 「四角い世界の歩き方」…イ



ンターネット・SNSには、便利な面と危険な面がある。いくつかの危険な事例を伝え、四角い世界に閉じこもらず、積極的にコミュニケーションの輪を広げることが大事だと発表しました。

■高校生の部

中里高校1年 「中里高校に入学して、私が伝えたいこと」…中里高校に入学し、学校が楽しいと思うようになった。少人数だからこそ生徒、先生との距離が身近に感じられるから。「中里高校が1人1人の目標の達成に向けて努力できる学校だ」ということを伝え、地域校である中里高校の必要性を訴えました。

中里高校2年 ^{こがわ まなか} 古川 愛華 「中里高校SBP同好会」…



中里高校SBP同好会では、これまでに「セレクトギフトボックス」、「メバ焼き！」を作ってきた。これからも、中泊町や高校の魅力伝え、少しでも地域活性化に繋がりたいと意気込みを語りました。



提供野菜をカレーでぺろり

給食おもいやり隊が武田小を訪問

町内でもとれた食材を学校給食へ提供している「給食おもいやり隊」の佐藤イネ子さん、田中恵津子さん、加藤琢磨さん、木村てつさん、田中千鶴さん、加賀美末子さんが8月30日(水)、武田小学校を訪れ4年生14人と給食の時間を共にしました。濱館町長や米塚教育長も参加したこの日の献立は、おもいやり隊のメンバーが育てたトマトやカボチャ、ジャガイモ、ナスを使った夏野菜カレー。児童らは、おもいやり隊のメンバーや町長らと楽しそうに話しながら、カレーをたいらげ、おかわりをしていました。野菜が苦手な児童も「これは美味しい」と話し、完食していました。児童らは「野菜がたくさん入っていておいしかったです。ぼくも美味しい野菜を作ってみたいとおもいました」と笑顔で話していました。

教訓胸に発展目指して

戦没者追悼式

町戦没者追悼式が、8月25日(金)中央公民館で行われました。式には、遺族会や関係者ら約90人が追悼に訪れました。国歌斉唱、黙祷に続き、遺族会主催の慰霊祭が行われ、各代表者が玉串を捧げました。式辞では、濱館町長が「戦争を二度と繰り返さないためにも、記憶を次世代に継承していくことが重要な使命。先人たちが築きあげた歴史、文化、施策を糧に誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けて力強く歩んでいく」と述べました。また、県知事、県遺族連合会、中泊町遺族会が追悼の辞を述べました。最後は、参列者全員が慰霊碑に菊の花を献花し、祈りを捧げていました。



浜の活力再生に向けて

小泊漁協組合が事例発表

地域の漁業所得の向上を目指した「浜の活力再生プラン」の東北地区推進会議が8月21日(月)、宮城県仙台市で行われ、当町からは小泊漁業協同組合の成田直人組合長と小林寿伸総務課長が出席しました。会議では、事例報告として、成田組合長が中泊メバル膳の開発から現在までの波及効果、中泊活ハマクラブの設立から、自立までの経過などを発表しました。特にメバル膳は注目され、その後行われたパネルディスカッションでは、質問が相次ぎました。会議に出席した成田組合長は「どの地域も力を入れていた。その中で注目を得られたことは良かったと思う。5年後を考えながら、地域の漁業所得向上を目指してがんばっていきたい」と意気込みを話していました。



医師を目指して

弘前南高校生小泊診療所訪問学習

弘前南高等学校2年生の6人が7月11日(火)、小泊診療所を訪れました。これは、「キャリア教育」の一環で医師を目指す生徒に対して実際の業務内容を見聞することにより、深く考えさせ将来に繋げていくことを目的としています。武田所長から地域医療についての説明を受けたり、診察の見学や実際にエコー検査や溶連菌の検査を医師の立場で体験できたことに満足した様子でした。所長は「将来、医療に従事したら、へき地医療に貢献してくれることを期待します」と生徒らに話していました。訪問学習を終えて、生徒らは「診療所だけでなく薬局・介護サービスなども見学でき、とても興味深かった」と話していました。





中央公民館で3泊4日の共同生活

管内小学生が通学合宿

中里地区の小学4～6年生を対象に、9月13日(水)～16日(土)の日程で通学合宿が行われました。今年度で14回目の開催となり、申込者は過去最多の41人となりました。児童たちは4つの班に分かれ、明の星短期大学の学生リーダーらとともに、自宅を離れて4日間を過ごしました。買い出し、食事づくり、身じたくをして学校へ行くまで、児童が中心となって生活しました。最後の夕食には保護者からも招待されました。心配そうに調理室を見ていた保護者の中には、一生懸命料理をする我が子を前に、涙を流している人もいました。

ほっこり笑顔で楽しむ

町図書館によるおはなし会開催

本に触れることが少ない介護施設の人たちにもっと本に親しんでもらおうと、8月29日(火)グループホームさくらに図書館職員が出向いておはなし会を行いました。「みんなでほっこり おはなし会」と題し、和やかな手遊びや昔話、参加型の絵本の読み聞かせが行われ、入所者のみなさんは、終始笑顔がたえない楽しい時間を過ごしました。

また、9月9日(土)には、読書、図書館にもっと親しんでもらおうと「みんなで楽しむおはなし会」が、総合文化センターパルナスで開催され、町内外の読み聞かせ団体5組がお話しを披露しました。この日は、園児からお年寄りまで、幅広い人たちが来場し、プロジェクターやカードを使うなど工夫をこらした絵本の読み聞かせや昔話、楽しい手遊びを楽しんでいました。



巨大「なた豆」見事に成長

成田清則さんが栽培成功

寒地での栽培が難しいとされている巨大豆「なた豆」の栽培に成田清則さん(福浦)が挑戦しました。なた豆は見事に生育し、収穫間近となって近所の話題となっています。なた豆は、マメ科の1年草としては最大級の植物、草丈は5m以上伸び、サヤも30cmから50cmまで大きく成長します。成田さんは「栽培が成功してよかった。これを機に、今後は中泊町の特産として誇れるよう栽培を普及していきたい」と意気込みを話していました。

初秋の自然を満喫

自然探索講座！初秋の十二湖

中央公民館では「初秋の十二湖へ行ってみよう」と題し、9月3日(日)に自然探索講座を行い、19人が参加しました。

天候にも恵まれ、ガイドの案内で十二湖の青池やブナ林、日本キャニオンを約2時間かけて散策しました。

参加者らは「空気がきれいで、心地よい汗をかくことができた。心身ともにリフレッシュすることができた1日となった」と笑顔で話していました。





メロンの甘さにおどろき

子どもたちがイネ子のメロン収穫体験

メロンの収穫を体験してもらおうと、9月25日(月)佐藤イネ子さんが中里こども園の園児らと薄市小学校5年生を自身の畑に招待しました。こども園と小学校から1人ずつメロンを収穫すると、子どもたちは順番にメロンを持ち上げて重さを確認していました。

その後、試食用のメロンを切るとあたりにはメロンの香りが広がり、子どもたちは大興奮の様子。みんなで「いただきます」とあいさつをしたあと、一斉に食べ始め「おいしい、おいしい」とおかわりをしていました。

また、小学生たちは重さクイズも行い、一番近かった児童らにメロンをプレゼントしていました。児童らは「いつも食べているメロンよりも大きくて重かった。味も甘くて美味しかった」と笑顔で話していました。

練習の成果、発揮!

第3回なかどまりっ子水泳記録会

なかどまりっ子水泳記録会が8月27日(日)、中泊町B & G 海洋センターで開催されました。第3回目を迎えた今年は天候に恵まれ、参加選手は日頃の練習の成果を存分に発揮しようとゴールを目指して一生懸命頑張りました。記録会終了後にはライフジャケットやペットボトルを利用した自分の身を守る水辺の安全教室を行い、水に対する知識を学びました。

記録会に参加した子どもたちは「たくさん練習して速くなった。来年はこの記録を抜けるようにもっとがんばりたい」と満足そうに話していました。



日本大学生が中泊町を体験

日本大学フィールドワーク

日本大学の学生19人が同大学の小野洋准教授の授業の一環で、8月28日(月)から当町を訪れ、中泊町を体験しました。

学生たちは小泊漁協を訪れ、小泊漁協婦人部にのしかの作り方や、イカのさばき方を教わりました。のしかを体験した学生たちは「おもっていたよりも大きくなったので驚いた。味も美味しい」と楽しそうに話していました。美味しくさばいたイカを食べると「おいしい!こんなイカ食べたことない」と新鮮なイカの味に驚いていました。



満開のひまわり畑

芦野河川敷にひまわり植栽

岩木川河川敷の環境美化を目的に、芦野地区の有志一同がひまわりを植栽し、見事な満開を迎えました。今年6月に有志らが協力し、芦野頭首工付近の河川敷地約30a部分を耕作・植栽しました。

ひまわりを植栽した人たちは「耕作・植栽と大変だったが、こんなにきれいに咲いてくれて嬉しい。少しでも多くの人にみてほしい」と笑顔で話していました。



中泊町役場 ☎57-2111
 小泊支所 ☎64-2111

町からのお知らせ

問 問合せ先 内 内線番号
 ☎ 電話番号 HP ホームページ

平成29年度 敬老会の開催について

問 役場福祉課福祉推進係 内 1512
 問 小泊支所

台風の影響により延期となっていた平成29年度中泊町敬老会を、次により開催します。

◆開催日時

平成29年10月20日（金） 午前10時より

◆開催場所

中泊町総合文化センター 「パルナス」

◆参加者

会場の都合などにより老人クラブ会員および平成29年9月15日現在65歳以上の人とさせていただきます。

◆顕彰対象者（当日顕彰される人）

・88歳長寿者

昭和3年9月16日から昭和4年9月15日の間に生まれた人

・婚姻50年 金婚夫婦

昭和41年9月16日から昭和42年9月15日までの間に婚姻入籍した夫婦

・婚姻60年 ダイヤモンド婚夫婦

昭和31年9月16日から昭和32年9月15日までの間に婚姻入籍した夫婦

※今年度の顕彰の申し込み受付は終了しています。顕彰対象者のみに当日の出欠のご案内を送付していますので、ご了承ください。

映画会のお知らせ

問 教育委員会社会教育課 内 1922



■開催日…11月5日(日)

■会場…総合文化センター「パルナスホール」

■時間…午後1時30分から

■料金…500円

■チケット販売…教育委員会／小泊事務所

敬老会(10月20日) 公民館バス・福祉バス運行表

問 役場福祉課福祉推進係 内 1512
 問 小泊支所

10月20日(金)の敬老会に下記のように公民館バス・福祉バスを運行します。ご利用ください。

公民館バス	【行き】	下前上バス停 発	8:40
		→下前漁協前	8:45
		→折戸バス停	8:55
		→総合文化センター「パルナス」着	9:35
	【帰り】(予定)	総合文化センター「パルナス」発	14:00
	→折戸バス停		
	→下前漁協前		
	→下前上バス停 着	15:00	

福祉バス	【行き】	小泊老人憩いの家 発	8:40
		→新町バス停	8:45
		→派立バス停	8:50
		→浜町バス停	8:55
		→小泊漁港前バス停	9:00
	→総合文化センター「パルナス」着	9:40	
【帰り】(予定)	「パルナス」発	14:00	
	→小泊漁港前バス停→浜町バス停→派立バス停		
	→新町バス停→小泊老人憩いの家 着	15:00	

NAKADOMARI PUBLIC RELATIONS OCT 2017.

北朝鮮ミサイル発射に伴うJアラートによる情報伝達と安全確保 問 役場総務課消防防災係
内 2015

北朝鮮が8月29日、5時58分、9月15日、6時57分の2回にわたり、弾道ミサイルを発射しました。発射されたミサイルは2回とも北海道上空を通過し、襟裳岬東方の太平洋上に落下しました。これにより町では国からの情報を防災行政無線により、瞬時に『ミサイル発射』と『ミサイル通過』の情報を発信しております。

●弾道ミサイルなどが発射され、日本に飛来する可能性がある場合、次のように情報伝達されます。

(1) 日本の領土・領海に落下する可能性がある場合と判断した場合

ミサイルが発射されると

①ミサイル発射情報・避難の呼びかけ
「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中、または地下に避難してください。」
②直ちに避難することの呼びかけ
「直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、または地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。」
③落下場所などについての情報（日本の領土・領海に落下）
「ミサイル落下。ミサイル落下。ミサイルが●●地方に落下した可能性があります。情報を伝達しますので、引き続き屋内に避難してください。」

(2) 日本の領土・領海の上空を通過した場合

ミサイルが発射されると

①ミサイル発射情報
「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中、または地下に避難してください。」
②ミサイル通過情報
「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、●●地方から●●へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

(3) 日本の領海外の海域に落下した場合

ミサイルが発射されると

①ミサイル発射情報
「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中、または地下に避難してください。」
②落下場所などについての情報（日本の領海外の海域に落下）
「先程のミサイルは●●海に落下した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

このような弾道ミサイルなどが飛来した場合、町では多くの避難者を収容できる施設を避難所に指定しております。今後、必要に応じて避難施設を指定してまいります。

中里地域		小泊地域
中里高等学校（県指定）	体育センター	小泊小学校体育館
中里小学校体育館	中央公民館	小泊中学校体育館
武田小学校体育館	武田公民館	旧下前小学校体育館
薄市小学校体育館	内瀧公民館	日本海漁火センター
中里中学校体育館	田茂木防災センター	すくすくこども館
旧今泉小学校体育館	中泊町役場大会議室	すくすくしたまえ館
総合文化センター「パルナス」		高齢者生活福祉センター

上記の施設を開設した場合は、防災行政無線を通じて町民の皆さんにお知らせします。情報を確認しましたら、落ち着いて避難してください。それまでの間はできるだけ

- ①建物の中に避難してください。
- ②爆風の影響で窓ガラスの破片が飛び散る可能性もありますので、なるべく窓から離れてください。
- ③屋外にいる場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。
- ④自動車を運転している場合は安全な場所に車を止め、物陰に身を隠すなどの行動をとってください。

衆議院議員総選挙：投票日は10月22日(日)

問 役場選挙管理委員会事務局 内 2313

衆議院議員総選挙

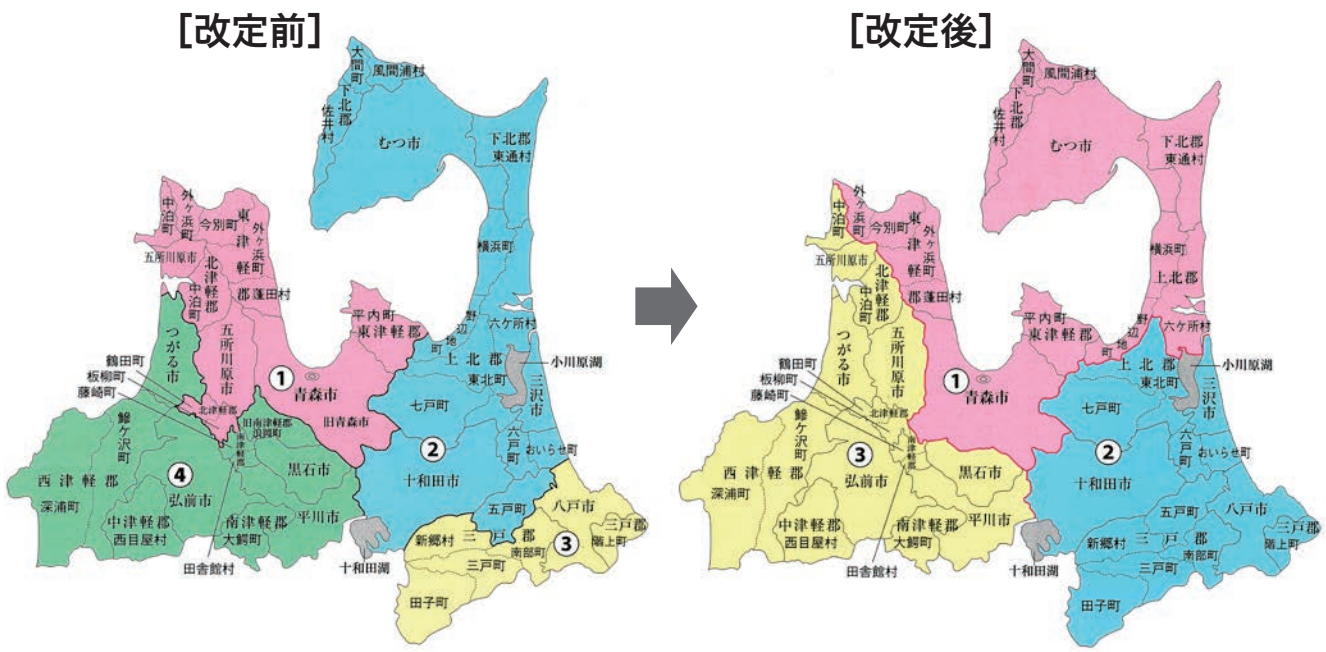
投票日の投票時間	午前7時～午後8時	
投票できる人	○投票日現在で満18歳以上の人 ○町に3か月以上居住している人 (平成29年7月9日以前に転入届を出されている人)	
期日前投票	投票期間	10月11日(水)から10月21日(土)まで
	投票時間	午前8時30分～午後8時
	投票場所	■中里地域……役場選挙管理委員会事務局(小会議室) ■小泊地域……小泊支所第1研修室 ※入場券がなくても選挙人名簿に名前が載っていれば投票できます
不在者投票	受付場所	役場選挙管理委員会事務局・小泊支所 ※申請用紙を備え付けています
	申請方法	宣誓書に氏名、生年月日、送付先などを記入していただきます。家族や親せきなど代理の人でも請求できます。印鑑を持って受付場所においでください。
	投票用紙の発送	
	投票方法	最寄り(滞在地など)の選挙管理委員会の執務時間内に、レターパックに入っているものをすべて持って行ってください。投票方法は、現地の選管担当者が指示します。早めの投票をお願いします。
返送方法	不在者投票を受け付けた現地の選管が返送します。自分で返送すると、無効になります。	

衆議院議員総選挙の小選挙区が改定されました

衆議院議員総選挙の小選挙区が改定されました。

10月22日(日)に行われる衆議院議員総選挙からは、新しい選挙区で選挙が行われます。

中泊町は、第3区となりますので、ご注意ください。



中泊町農業委員会委員の推薦・募集のお知らせ

☎ 役場農政課農地係 ☎ 1714

農業委員会などに関する法律が改正され、農業委員の選出方法が選挙制と市町村長の選任制から市町村議会の同意を要件とする市町村長の任命制となりました。中泊町においても平成30年3月28日から新制度へ移行することから、次のとおり農業委員の推薦・募集を開始します。

- 推薦・募集人数…15人(選考に当たっては、委員の過半数が認定農業者など、農業委員会の所掌に属する事項に関し利害関係を有しないものが含まれる。)
- 任期…平成30年3月28日から平成33年3月27日まで
- 身分…中泊町の特別職の非常勤職員
- 報酬…中泊町報酬及び費用弁償に関する条例による(改正予定)
- 主な事務内容

- (1)農地などの権利移動の許可、農用利用集積計画の決定
- (2)農地転用許可
- (3)農地などの利用の最適化の推進に係る農業委員会の意思決定および諸活動、現地調査など

○推薦を受ける者および応募する者の要件

農業に関する識見を有し、農地などの利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行なうことができる中泊町に住民登録のある者で、次のいずれかに該当する者を除きます。

- (1)満20歳未満である者
- (2)破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- (3)禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの者
- (4)暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団(その団体の構成員(その団体の構成団体の構成員を含む)が集団的にまたは常習的に暴力的不法行為を行なうことを助長するおそれがある団体をいう。)もしくは同条第6号に規定する暴力団員(暴力団の構成員を言う。)またはこれらと密接な関係を有する者。

- 推薦または応募の方法…農業者などによる推薦(個人による推薦)または農業者が組織する団体などからの推薦及び自ら応募する方法があります。なお、個人による推薦の場合は、中泊町に住所を有する3人以上の連名による推薦が必要です。

次の様式に必要な事項を記入し、持参または郵送により役場農政課農地係へ提出してください。なお、推薦及び応募に関する書類は返却しませんのでご了承ください。

提出書類…[農業委員会の委員 推薦・応募書] 様式第1号

- 様式の入手方法…役場農政課農地係および小泊支所にて配布するほか、中泊町ホームページからダウンロードすることができます。
- 推薦・募集期間…平成29年10月23日(月)まで
※持参される人は、役場開庁日の午前9時から午後4時までの間に提出してください。
※郵送される場合は簡易書留にて郵送してください。(10月23日必着)
※申し込み状況によって、募集期間が延長となる場合があります。この場合、当初募集期間終了後に中泊町ホームページにより公表します。
- 選考…定数を越えた応募があったなど必要に応じ中泊町農業委員会委員選考委員会を設置し提出された書類をもとに候補者を選考します。
- 応募結果の通知…結果については応募者全員に通知するほか、中泊町ホームページなどで公表します。
- 推薦・応募内容の公表…法令の規程に基づき、推薦・募集期間の中間および終了後に中泊町ホームページで提出された推薦書・応募書に記載された事項(住所・電話番号は除く)を公表します。
- 応募先(送付・持参)…〒037-0392 中泊町大字中里字紅葉坂209番地
中泊町役場 農政課農地係 宛

鳥獣追払い用花火の提供について

☎ 役場農政課林務畜産係 ☎ 1812

サルなどの鳥獣により農作物被害を受けた人に対して、追い払うためのロケット花火、爆竹を提供しています。困りの人は役場農政課へお越しください。

クマにご注意ください!

☎ 役場農政課林務畜産係 ☎ 1812

秋はクマが冬眠に備えるため、エサを求めて活発に活動します。山菜採りや登山などで入山する際は、大きな音を出しながら歩く、なるべく複数人で行動するなどのクマに会わないための対策を必ず

生活排水対策講習会開催のお知らせ

☎ 役場環境整備課衛生係 ☎ 1915

■日時：10月31日(火)
午後1時から3時

行いましょう。また、役場農政課ではクマの目撃情報の提供などを行っておりますので、ご活用ください。

■場所：中泊町役場2階「大会議室」

■講師：土岐 泰氏

(あおもりアースレンジ)

ヤー(青森県地球温暖化防止活動推進員)

■対象：中泊町在住の興味のある人

■人員：約40人(人員に達し次第締め切ります)

■参加料：無料

■講習内容：町内の河川から採取した水の汚れなどを調べながら、水の大切さや、川や海を汚さない方法を学びます。

■申込：参加される人は、10月25日(水)までに、参加者の住所、氏名、連絡先を問合せ先まで連絡ください。

「都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト」に参加します

問 役場環境整備課衛生係 内 1915

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルに、皆様が必要とした小型家電に含まれるリサイクル材が活用されることになりました。

東京2020組織委員会が主催するこの取組に、全国の自治体が小型家電の回収で協力することになり、中泊町でもプロジェクトへ参加することとなりました。

中泊町では、町内13箇所(下記参照)に小型家電回収ボックスを設置していますのでご利用ください。

※パソコンを出す場合、個人データは削除し、役場環境整備課窓口か処分場へ自主搬入してください。

〈ボックス設置場所〉

- 中泊町役場
- 総合文化センター「パルナス」
- 津軽中里駅「駅ナカにぎわい空間」
- 中泊町中央公民館
- 中泊町一般廃棄物最終処分場
- 中泊町農村活性化施設
- 中泊町小泊一般廃棄物最終処分場
- つがるにしきた農協中泊・武田・内潟各支店

詳しくは町のホームページ、またはプロジェクトのホームページ(www.toshi-kouzan.jp)をご確認ください。→「都市鉱山 リサイクル」で検索

主催：東京2020組織委員会

小型家電リサイクルにご協力をお願いします！

なかどまり町民文化祭開催

問 中里会場…中央公民館 ☎ 57-2341

問 中泊会場…教育委員会小泊事務所 ☎ 64-2679

今年度は次の日程で開催いたします。皆さまのご来場、作品の出品など町民文化祭へぜひご参加ください。町民文化祭期間中は、地域連絡バスを無料運行いたします。ご利用ください。日程や内容などは折込のパンフレットをご覧ください。

【小泊会場】

■期間…10月21日(土)～22日(日)

■会場…日本海漁火センター

【中里会場】

■期間…10月27日(金)～29日(日)

※10月27日はパルナスホールで中里地域小学校学習発表会と青森明の星短期大学の公開講座として、木村博子氏と笹森誠氏による「童謡詩人 金子みすゞを音楽で」を開催します。他のイベント展示作品の鑑賞などは10月28日、29日の2日間です。

■会場…パルナス・中央公民館・体育センター・中里保健センター・老人福祉センター

《出品作品例》習字、絵画、写真、盆栽、文化刺繍、ちぎり絵、押し花、切り絵、凧絵、手工芸など。

津軽地域障害者就職面接会のお知らせ

問 五所川原公共職業安定所
(34) 3171

障害をお持ちの人を対象とした就職面接会を開催します。障害者雇用をお考えの企業や、仕事をお探しの障害者手帳をお持ちの人を募集します。

参加を希望される人は、問合せ先までお申込みください。
■日時：10月25日(水)
13時～15時30分

■場所：アートホテル弘前シティ(JR弘前駅中央口から徒歩1分)

10月は「木づかい推進月間」

問 青森県庁林政課
017(734)9517

漢字の「十」と「八」を組み合わせると「木」の字になることから、10月8日は「木の日」と定められています。

青森県には、スギやアカマツ、ヒバなどの木材として利用できる木がたくさんあります。この県産材をわたしたち県民が住宅や家具などに利用することで、森林整備の推進をはじめ、山地災害や地球温

暖化の防止にも貢献します。さらに、木材の輸送距離の短縮に伴うCO₂排出量の削減や地元の産業振興にもつながります。

人と環境に優しくエコな県産材を生活に取り入れ「木材の地産地消」に取り組んでいきましょう。

表示登記無料相談会開催のお知らせ

問 青森県土地家屋調査士会
017(722)3178

土地家屋調査士が不動産の表示に関する登記や土地境界のご相談に承ります。

また、方言川柳家の渋谷伯龍先生に、世の中の様々な境について、川柳を通じて面白おかしく講演を行っていただきます。

○表示登記無料相談会

■日時：11月3日(祝・金)
10時～15時30分

■場所：アピオあおもり2階大研修室1(青森中央3丁目17-1)

○渋谷伯龍川柳講演会

■日時：同日13時
■場所：アピオあおもり2階イベントホール

※入場無料、申し込み不要

奥津軽パーク プレ写真展のご案内

問 中泊事務局代表 外崎文夫
☎ 57-3373

奥津軽パーク協議会では、「写真でまちおこし」を目的に写真展を開催します。

竹内正一氏の作品と中里小学校生徒の作品展示を次の日程で行いますので、ぜひお越しください。

■日時

10月13日(金)
～20日(金)
10時～17時(最終日は15時まで)

■場所

町役場2階
大会議室



平成29年度 MOA美術館 中泊児童作品展

問事務局菊池愛子
☎(57)27752

子どもたちの創作活動を奨励し、「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間形成」を目的に開催し、町内小学生の力作が一堂に展示されます。

■日時：10月14日(土)9時～16時 / 15日(日)9時～15時

■場所：中央公民館大ホール・大広間

■表彰式：10月15日(日)14時～

交通事故の損害賠償問題でお困りの人へ

問 交通事故紛争処理センター仙台支部
☎022(2663)7231

自動車事故の損害にあわれ、示談をめぐる損害賠償の問題でお困りの人へ、弁護士が「中立・公正」な立場で、当事者間での紛争解決のお手伝いをいたします。

被害者ご本人に損害賠償問題の法律知識がなくても、交渉に不慣れでも安心です。弁護士費用は、一切かかりません。

必ずチェック最低賃金！ 使用者も労働者も！

問 青森労働局労働基準部賃金室 ☎017(734)4114
HP <http://aomori-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

青森県最低賃金改正のお知らせ

- 1 青森県最低賃金が改正されます。金額などは次のとおりです。
時間額 738円(10月6日から)
- 2 青森県最低賃金は、青森県内で働く全ての労働者と、労働者を一人でも使用している使用者に適用されます。
- 3 製造業と小売業の一部には、特定(産業別)最低賃金が定められています。
- 4 詳しくは、青森労働局ホームページからご覧になれます。

広告

2Fカラオケのいすだけリニューアル!
15:00～23:00(入店ストップ)
みんなで食べて歌うべし!

魚と串焼と酒の肴

くつろぎダイニング

■くつろぎダイニング2Fカラオケ 定休日 毎週月曜日 第2・第4日曜日
番付店 19:00～23:30(ラストオーダー)
店名 中泊町中里学区44-4 TEL 0173-57-9086

広告

HONDA 除雪機 ご予約受付中

早期購入キャンペーン 早得3年補償
2017年11月30日まで実施中
安心補償制度が3年間ついてきます!
さらにダブルチャンス!
抽選で選べるグルメプレゼント! ※11月15日まで

サークルK 国道339号
金木自動車学校 オートショップ ヒラヤマ

除雪機のことならホンダスノーショップへ!
AUTO SHOP Hirayama オートショップ ヒラヤマ
青森県五所川原市金木町菅原433-4
MOTOR CYCLE SERVICE TEL 0173-52-4737

農業者向け説明会開催のお知らせ ～新たな生産調整～

問 役場農政課農業振興係 内 1813

国は、平成30年以降、行政による生産数量目標などの配分を廃止するとともに、米の直接支払交付金の廃止も決定しております。

来年度の農業経営の方向性に関する説明会を次の日程で開催します。

※地域に関係なく、どの会場でも参加自由です。

■日時……10月26日(木)

■会場……武田公民館 午前10時～
中央公民館 午後2時～
内潟公民館 午後4時～

図書館情報

今月のMiniコレクション

○テーマ

「本の中の料理・食事」

小説の中には、さまざまな食事が描写されています。この秋は、食欲も読書もまとめて楽しんでみてはいかがでしょうか。

新刊情報 [一般]

『ランニング・ワイルド』 堂場 舜一 文藝春秋
『乳酸菌がすべてを解決する』 後藤 利夫 アスコム
『戦国、夢のかなた』 岡本さとる 角川春樹事務所
『GIプリン』 渡辺 淳子 光文社
『太陽系時代の終わり』 六角 光汰 文芸社

〈休館のお知らせ〉

蔵書点検のため、10月30日(月)～11月6日(月)まで休館いたします。ご返却は、文化センター「パルナス」入り口の「返却箱」をご利用ください。

〈イベント情報〉

ぬいぐるみのおとまりえんそくinごしょがわら

いつも一緒にいるぬいぐるみとおはなし会に参加しませんか？

○日時…11月11日(土) 14時～

○場所…中泊町図書館

○申込…10月11日(水)～(定員10人に達し次第締切)

○対象…3歳～小学6年生まで

もっとラクに、キレイに、 おいしい野菜を作ろう！

「現代農業」出版社から講師を招き、DVDを見ながら野菜作りのコツと裏ワザを伝授！

○日時…11月12日(日) 13時～15時

○場所…総合文化センター「パルナス」2階研修室

○申込…定員20人に達し次第締切

※詳しくは、中泊町図書館(Tel.69-1111)までお問い合わせください。

10月31日は

町 県 民 税 3 期
国民健康保険税 4 期

の納期限です。
忘れずに納めましょう。

※口座振替をされている人の引き落とし日は10月25日(水)です。残高をご確認ください。
※町税の納付は便利で安全な口座振替をご利用ください。

問 役場税務課課税係
121251214

訂正とお詫び

広報なかどまり9月号6ページのまちの話題の記事で「加藤主税くん」と記載しましたが、正しくは「佐藤風雅くん」です。

ご本人はじめ関係者のみなさんに大変ご迷惑をおかけしました。お詫びし、訂正させていただきます。

心配ごと相談 町社会福祉協議会

中里地域

小泊地域

10月18日 成田 寛
山本 弘

10月18日 秋田谷 徳美
藤森 裕実

相談場所 役場相談室2
相談時間 午前9時～正午

相談場所 日本海漁火センター
相談時間 午前9時～正午

移動なんでも行政相談

日 時…10月25日(水) 午前9時～正午

場 所…日本海漁火センター 第1研修室
行政相談委員…秋元 武弘、藪田由比子

※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望を、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。

◆秋の企画展「遊びとおもちゃ
—素材とぬくもり—」開催！
【8月6日～11日】



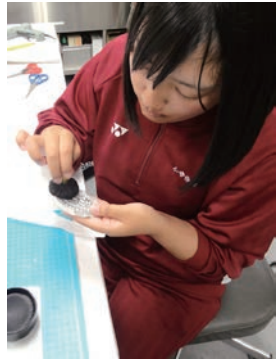
世界のおもちゃ大集合！ぬくもりあふれる自然素材の玩具や、遊びに関連する資料を幅広く紹介します。

日時：10月21日(土)～12月17日(日)
午前9時～午後4時45分(最終入館午後4時15分)／休館日：毎週月曜・第4木曜・祝日／入館料：通常料金(一般200円、高校・学生100円、小・中学生50円)

◆中里・金木高校2年インターシップ！

9月上旬三国谷怜央(金木高校)・小寺怜佳(中里高校)さんが、図書館・博物館でインターンシ

ップ(就業体験)を行い、開館準備や資料登録、掛軸・陶磁器の取扱い・ワークシート作成など、多彩な学芸員の仕事を体験しました。



◆中里小2年博物館見学！

9月中旬中里小2年生が博物館を訪れ、展示室ほか、通常は目にするここのない研究室や写



場、収蔵庫などを探検しました。なかでも、厳重に保管されている火縄銃や日本刀に興味津々の様子でした。

◆「駅ナカ学校」遠足！

中泊町の有志が立ち上げた「駅さいぐべし！」は、津軽中里駅を盛り上げようという団体。このほど、同団体による「駅ナカ学校」遠足が行われ、約15人が津軽中里駅を起点とする2km・1時間の山あり谷ありのコースに挑戦しました。

駅を出発して、市街地から中里城遺跡に上ります。博物館学芸員の解説に耳を傾けながら、雨あがりの空気を満喫、展望台からの一望を楽しんだ後は、獣道のような道を通って真勝寺に下ります。派立を通って、無事津軽中里駅に帰還しました。



119 —消防&救急—

秋の火災予防運動が始まる

10月16日(月)～22日(日)までの一週間、県内で一斉に「火の用心 ことばを形に習慣に」を統一標語に秋の火災予防運動が行われます。

火災予防運動は、地域住民のみなさんの防火・防災に関する意識や行動力を高め、火災や災害に強い町づくりを推進することを目的としています。安全で住みよい町になるよう、ご協力をお願いします。

【住宅防火のちを守る7つのポイント】を紹介しします。

- ・寝たばこは絶対止める。
- ・ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す。
- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ・寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- ・火災を小さいうちから消すために住宅用消火器などを設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所と



の協力体制を作る。これらの7つのポイントを踏まえて、火災予防期間中だけでなく、日々の生活にも役立ててください。

消防サイレンの種類の紹介

消防車から鳴るサイレンは出動する災害や目的ごとに異なります。

火災出場する消防車はサイレンと鐘を鳴らします。
『ウーカンカン』

火災以外の救助、救急支援、警戒、風水害などの出動はサイレン音のみです。
『ウーウーウーウー』

これで火災と他の災害の区別ができます。消防活動へのご理解ご協力をお願いします。



中里 ☎(57)3920
小泊 ☎(64)3748

むし歯のない子の紹介

3歳児健診にて

(9月9日実施)

- ①口頃むし歯をつくらないよう気を付けていることは？
- ②わが子の自慢できることは？

①おやつに甘いもの(チョコレートなど)を食べさせないようにしています
②優しい心の持ち主です



田村 莉央ちゃん
(向町下)

- ①仕上げ磨きをする事
- ②元気なところ



今 桜志朗ちゃん
(五 林)

- ①歯みがきの時間を決める
- ②おしゃべり



外崎唯菜ちゃん
(宮野沢)

- ①仕上げとフッ素のスプレー
- ②笑顔



立山柚叶ちゃん
(深郷田上)

- ①仕上げみがきをかかさずにやる!!
- ②元気いっぱい♡



北畠瑞大ちゃん
(薄市下)

- ①仕上げみがきを頑張っています
- ②優しくて頼れるお兄ちゃんです



成田門土ちゃん
(今泉上)

※今回の3歳児健診で、虫歯のない子は8人中6人でした。

受けよう乳がん検診

10月は、ピンクリボン月間です。乳がんは、女性に最も多いがんで、日本人女性の約11人に1人が罹患すると言われています。発症年齢は、

30代から増え始め、40代後半〜50代前半にピークを迎えます。乳がんは子育てや介護、仕事など女性として一番忙しい時期にかりやすい病気です。

必要です。希望する人は、役場町民課(保健指導係)にお申し込みください。無料クーポン券をお持ちの人は、直接医療機関に連絡ください。詳しくは、『健診お知らせ帳』を確認ください。

健診&セルフチェックで早期発見!

乳がんは、定期健診やセルフチェックで早期に見つけることができます。忙しい中でも、自分自身の健康を意識し、定期的にチェックすることが大切です。

■20歳になったらセルフチェックを心がけましょう
毎月1回、月経が始まって1週間後がチェックの目安です。

- ①鏡の前で乳房のひきつれ・くぼみ・ただれがないかチェックします。
- ②指をそろえて、指の腹で「の」の字を書くように動かします。乳房全体、乳首、鎖骨・脇の下までくまなく触ります。

■40歳を迎えたら、2年に1度健診を受けましょう
月に1度のセルフチェックで異常を感じない場合でも、2年に1度は検診を受けましょう。

乳がん検診(町の個別健診)

基本は、偶数年齢の人が対象ですが、昨年度受診機会を逃した人も受診することが出来ます。※個別健診は、事前に申込みが

必要です。希望する人は、役場町民課(保健指導係)にお申し込みください。無料クーポン券をお持ちの人は、直接医療機関に連絡ください。詳しくは、『健診お知らせ帳』を確認ください。

高齢者インフルエンザ予防接種に関するお知らせ

接種希望の人は町の指定医療機関に直接お申し込みください。

【対象者】

- ①65歳以上の人
 - ②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能およびヒト免疫不全ウイルスで免疫機能に障害がある人(障害者手帳内部疾患1級の人)
- *平成30年3月31日時点での満年齢になります。

【実施期間】平成29年11月1日〜平成30年1月31日まで

*医療機関ごとに接種日や時間が違いますので、確認のうえお申し込みください。

【負担金】1,000円(接種医療機関にお支払いください)

・住民税非課税世帯の人、生活保護を受給している人は無料で

す。接種の際は、「高齢者インフルエンザ予防接種無料券(該当する人には個別通知しています)」を提出してください。

【接種できる医療機関】

委託医療機関	電話番号
井沼洋クリニック	69-1071
武田診療所	57-2134
中里クリニック	57-3636
りかクリニック	58-3717
中泊おの医院	57-5758
小泊診療所	64-2117
かなぎ病院	53-3111

◎ひきこもり相談会のご案内

「ひきこもり」とは、様々な要因によって、自宅以外での社会参加の場が、長期間失われた状態をいいます。家族だけで抱え込まず、また、自分一人で悩まずに、相談してみませんか。

■主催：青森県ひきこもり地域支援センター

・日時：10月17日(火)
・場所：五所川原市民学習情報センター

■対象：ひきこもり状態にあるご本人や家族。

■申込み：青森県ひきこもり地域支援センター(精神保健センター内)
電話017(787)3953

*事前の申し込みが必要です。

まちのイベントカレンダー

10 月			11 月		
16	月	10:00~ 運動教室(中央公民館)	1	水	
17	火		2	木	
18	水		3	金	
19	木		4	土	10:00~16:00 漁火センター図書室開放 10:00~16:00 すくすくしたまえ館図書室開放
20	金		5	日	
21	土	9:00~16:00 なかどまり町民文化祭小泊会場 9:00~16:45 秋の企画展「遊びとおもちゃー素朴とぬくもりー」(~12/17:博物館)	6	月	10:00~ 運動教室(中央公民館)
22	日	9:00~14:00 なかどまり町民文化祭小泊会場	7	火	
23	月	10:00~ 運動教室(中央公民館)	8	水	12:50~ 2歳6か月児歯科健診(中里保健センター)
24	火		9	木	12:15~ 3歳児健診(中里保健センター)
25	水		10	金	
26	木	乳児健診(中里保健センター)	11	土	10:00~12:00 漁火センター第2研修室開放 10:00~16:00 小泊小学校体育館開放
27	金		12	日	
28	土		13	月	10:00~ 運動教室(中央公民館)
29	日		14	火	
30	月		15	日	
31	火				

- 坂田 瑞季 (宮川)
- 升田 晃司 (花丘町)
- 千葉 恵美 (宮城県)
- 青山 武寿 (今泉下)
- 中村 由佳 (青森市)
- 工藤 翔平 (向町上)
- 松崎 貴世 (大阪府)
- 竹谷 栄司 (福浦)
- 高橋 迪子 (五所川原市)
- 坂田 直也 (宮川)
- 清野 さくら (弘前市)
- 佐野 和輝 (田茂木)

 結婚おめでとうです

- 山田 悠月 (男・悟史) 上町
- 長利 芽依 (女・洋平) 上豊岡
- 新岡 綾乃 (女・真紘) 富野

 お誕生おめでとうです

戸籍の窓口
(8月届出分)

- 角田 昭英 (下前上)
- 吉田 ちエ (上町)
- 成田 優 (下前上)
- 藤田 アサコ (上町)
- 尾崎 貞夫 (入舟)
- 太田 勘藏 (下前中)
- 古川 チヨ (五林)
- 小林 トミエ (向町上)
- 佐藤 清子 (芦野)
- 外崎 晴夫 (宮野沢)
- 鎌田 晴ツ (深郷田上)
- 小山内 大介 (今泉上)
- 石川 定幸 (芦野)
- 松島 榮之進 (派立下)
- 成田 日出男 (薄市上)
- 下山 善昭 (薄市上)

 お悔やみ申し上げます

人のうごき	
8月末現在(前月比)	
人口	11,482人(-29)
男	5,386人(-13)
女	6,096人(-16)
世帯数	5,128(-5)
出生	5 / 死亡 17
転入	9 / 転出 26

NAKADOMARI PUBLIC RELATIONS OCT 2017.



トマトの下処理

9月20日(水)、21日(木)に中里中学校の生徒たちが職場体験を行いました。

小寺駿平くん、成田魁くん、中谷翔くんの3人は、アクトプラン内にある調理室で材料であるトマトを洗浄、ヘタの切り取り、果肉・種の部分に分ける作業を、素早く丁寧にこなしていました。生徒たちは「大変だが、達成感がある」、「苦勞する仕事だが、楽しいと思う」などと少し照れくさそうに話していました。

真剣な彼らを見て、同じ時期に、同じ地域で職場体験をしている者同士、少しでも中泊町の役に立ちたいと思いました。

三上遼大くん、秋元健造くん、藤本卓磨くんの3人は図書館、博物館で仕事を体験し、「仕事をするという事は大変だと思った」と、いつも仕事をしている親の凄さを痛感していました。

本にカバーをつけるなど、いろんな作業を先輩の言うことをしっかりと聞き、集中して取り組んでいました。仕事をしている生徒からは楽しさが伝わってきました。



本にカバーをつける作業



子どもたちとの触れ合い

鈴木詩乃さん、宮越咲空さん、加藤真那さん、古川楓夏さん、中村真実さんの5人は、子供たちとブロックやボールなどの遊び道具などを使って遊んだり、絵本を読んであげたりしていました。

笑顔で子どもたちと会話をしたり、遊んでいてとても賑やかで楽しい雰囲気でした。

生徒たちは、「大変だけど楽しい」「知らない遊びがたくさんあった」などと笑顔で話していました。

仕事というものに触れて

木造高校の生徒が
職場体験

木造高校の久保田翼くん、小山内清隆くん、升田柊くん、古川菜南子さん、山田美来さんの5人が、9月20日(水)から22日(金)までの3日間、町役場や施設などで職場体験を行いました。

町役場では、広報係での広報の裏表紙作成や図書館などでの取材、写真撮影などを行いました。また、水産商工観光課では、中泊町の観光地視察や新パンフレットの作成などを行いました。

広報係を体験した久保田くんは「この3日間で様々な場所に行き、たくさんの体験をすることができた。これからの自分の進路や将来に活かすようにしたい」と話していました。

水産商工観光課を体験した古川さんと山田さんは「パンフレット一枚に魅力をうめこむのが大変」「イベントを考えるのが大変」と話していました。



イベント立案



町長へあいさつ



記事作成

このページは、木造高校の久保田翼くん、小山内清隆くん、升田柊くんが作成しました。

